

次の全国大会への飛躍を誓う
全国ソフトテニス大会でスマッシュ!

4月10日、第7回全国小学生ソフトテニス大会に参加した4選手が町長室を訪れ、大会成績を報告し、次回、熊本で開催される全国大会への飛躍を誓いました。

5年生の部門には、全国各地から強豪が参加する中、河野斗夢君と佐藤雪路君ペアは予選リーグを全勝で突破し、ベスト32に入りました。上杉昌輝君と細川源生君ペアは4勝2敗と、昨年以上の成績を収めました。

4人は全国大会を振り返り、「ミスもあり、ベストな力を出し切れなく悔しい」と話し、「普段の練習に磨きをかけて次の大会に臨みたい」と話してくれました。

佐藤多一町長は、「2年連続の全国出場はすばらしい。全国でも頑張っしてほしい」と激励の言葉を4人に送りました。



町長室を訪れた【左から】細川君・上杉君・河野君・佐藤君

全日本リコーダーコンテストで快挙
活汲中学校が花村賞を受賞!



4月3日、全国大会で活躍した活汲小中学校の出場者代表が町長と教育長に喜びの報告

3月30日、東京で開かれた全国リコーダーコンテストで活汲小中学校が、小学校重奏と合奏の2部門で銀賞、中学校合奏で金賞を獲得し、中学生部門で特に優秀とされる学校に贈られる花村賞を受賞しました。

報告に訪れた山田羽垂奈さん(現高校1年生)は、「昨年は緊張して上手く演奏できなかったけれど、今年はリコーダーとしてみんなを引っばっていかねければならなかったので頑張りました。」武井諒汰君(現中学1年生)は、「緊張して途中で間違えそうになった。リコーダーは中学でも続けたい」と報告。佐藤多一町長は、「これからも頑張っしてほしい」と激励しました。

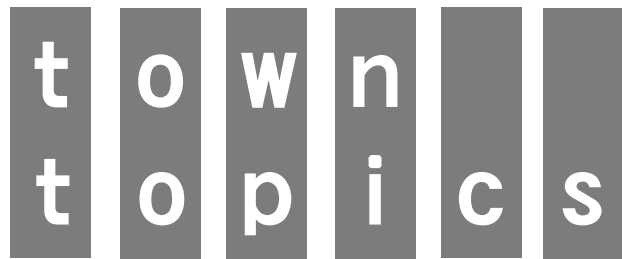
地域力がまちを救う
80人が参加したまちづくり講演会



3月26日、林業研修会館でまちづくり講演会(津別町自治会連合会主催)が開催され、約80人が参加し、「ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり」をテーマに講師の鬼塚弘子さん(新星町内会副会長)は、「新町高齢者を支援するボランティアの会 ジニアの家、もつ一人の講師の嵐慎一さん(緑町緑友町内会会長)が、「福祉活動の取り組みをとおして町内会の活性化を!」と題して講演しました。

鬼塚さんは、「ボランティアの、高齢化や会場が狭い。冬には送迎が必要」と話しました。

嵐さんは、自治体で災害発生シミュレーションを行ったことで昨年北見で発生した断水時の給水活動がスムーズに行えたなどの実績を紹介してくれました。



まちのわだい

糖尿病の原因と予防を学んだ
健康はつらつ講演会開催

3月27日、中央公民館で健康はつらつ講演会(町自婦連、赤十字奉仕団共催)が開催され、参加した約140名が糖尿病について学びました。

初めに町の石崎佐枝子保健師が、「糖尿病の健診からの報告」をテーマに、糖尿病と診断される基準や、糖尿病と診断された方の生活改善の結果を報告し、「1人でも多くの人に健康受診をお願いしたい」と訴えられていました。

次に、津別病院の東直樹副院長が、「糖尿病について」をテーマに糖尿病患者の増加の原因や、糖尿病と肥満の関係性、合併症などについて講演されました。



最後に体調管理のために体重計に1日数回乗り、体重を増やさないことが大切だと呼びかけていました。

飛び出しは危険です
青葉幼稚園で交通安全を学ぶ



4月14日、青葉幼稚園で春の交通安全教室が開催され、町の交通安全担当者が園児たちに、「横断歩道を渡りましょう」、「道路の右側を歩きましょう」、「車の前や後では遊んではいけません」と呼びかけ、交通安全のぬりえをプレゼントしました。

最後に園児たちは交通安全のアニメビデオを見ながら、道路にはたくさん危険があるので絶対遊んではいけないことを教わり、津別駐在所の守山所長さんと交通ルールを守ることを約束しました。

新入学児童の安全な登下校を願い
津別防犯協会が防犯ベルを寄贈

4月3日、津別町防犯協会(水上博会長)の関係者が教育委員会を訪れ、新1年生33個分の防犯ベルを寄贈しました。今年の防犯ベル「ミオマモルちゃん」はストラップを引くと大音量で危険を知らせます。昨年は2件の不審者情報があったことに、水上会長は「防犯グッズが必要なものになってきた」と話してくれました。8年連続の寄贈に阿部教育長は「地域社会みんなで見守っていききたい」と述べていました。



火災をなくし安心安全なまちを
防火パレードに122人が参加

4月19日、春の火災予防運動にあわせて防火パレードが行われました。消防署前で行われた出発式では佐藤正敏副町長が「津別では大きな火災は最近発生していませんが、この時期は山菜採りなどで山に入る人も多く、タバコの火などで山火事が考えられます。火災が発生しないように防火意識を高め、命と財産を守りましょう」と挨拶しました。パレードでは総勢122名が、約1時間火災予防を呼びかけていました。



総勢141人
寿大学に7人入学

4月18日、中央公民館で津別町寿大学の入学式と始業式が行われ、今年度は新たに7人の学生が大学の一員となりました。

入学式では阿部博道教育長(寿大学学長)と松岡洋自治会代表より歓迎のあいさつの後、入学生一人一人に学生証が交付され、学生たちは緊張した面持ちで受け取っていました。続いて、新入生を代表して、岩富の齊藤哲夫さんが「学習とクラブ活動を通して、うるおいと思いやりのある心を育て、より充実した学生生活を送ります」と誓いのことを述べていました。

